

デジタルシティ松本 のシンカ



DX・デジタル化推進に関する骨太の方針

令和3年度	策定
令和4年度	UPDATE
令和5年度	UPDATE
令和6年度	UPDATE

<本編>

1	使命（MISSION）	003
2	目指す姿（VISION）	004
3	共有する価値（VALUE）と取組み	005
(1)	いつでも、かんたんに	006
(2)	仕事や暮らしがより良く	007
(3)	便利なサービスが生まれる	008
(4)	可能性を引き出す	009
(5)	活躍の場が広がる	010
(6)	誰もが恩恵を受けられる	011
(7)	安心が高まる	012
(8)	さらに・・・	013
4	心構え（SPIRITS）	014
5	用語集	015

＜参考資料＞

これまでの取り組み 016

<別冊>

Task List (実行項目リスト)

地域が持つポテンシャル
(三ガク都)に最先端の
テクノロジーが融合した
『デジタルシティ松本』



I 使命 (MISSION)



「デジタルシティ松本」のシンカ

2020年頃に比べおよそ東京23区に相当する約1000万の人口が減少。団塊の世代が80歳代となり、65歳以上の高齢者が人口の1/3を占め、働き手が不足。学生時代からインターネットに親しんだ世代が50歳前後、生まれた時からスマホやSNSがあった世代は30歳前後となり、デジタルネイティブ※へ世代交代。これは、2030年の日本に、ほぼ確実にやってくると言われている姿です。また、これまで度々発生してきたパンデミックや自然災害が、再び起こることも覚悟しなければなりません。

こうした現実と真摯に向き合い、デジタル革新を構造変革の原動力として、市民の幸福度の最大化を目指し、人口の定常化につなげる“「デジタルシティ松本」のシンカ”が、私たちに課せられた使命です。



2 目指す姿 (VISION)



豊

デジタルで大都市並みに
仕事ができ**豊**かに暮らせるまち

シンカがもたらす



5つのまちの姿

育



デジタルで好奇心をくすぐり
未来を**育**むまち



挑

デジタルのフィールドで
新しい自分に**挑**戦できるまち

快



デジタルでタイムリーに
結ばれた便利で**快**適なまち

安



デジタルで人と情報が
まもられる心**安**らぐまち



3 共有する価値（VALUE）と取組み

市民・事業者・行政で共有



(1)いつでも
かんたんに

(2)仕事や暮らし
がより良く

(3)便利なサービス
が生まれる

(4)可能性を
引き出す

(5)活躍の場が
広がる

(6)誰もが恩恵を
受けられる

(7)安心が
高まる



(1) いつでも、かんたんに 市役所の変化

快

フロントヤード改革

マイナンバーカード



コンビニで早く・安く証明書発行
市からの通知も受け取れる



身近な施設から
オンラインで手続き・相談

窓口の予約化



窓口手数料・利用料などの
支払いがスマホで現金いらず

公共施設の利用に
鍵の受け取りいらず



必要なときに
いつでも申請・予約・決済



電子入札や電子請求で
手間いらず



図書館資料に
ICタグ貼付

バックヤード改革

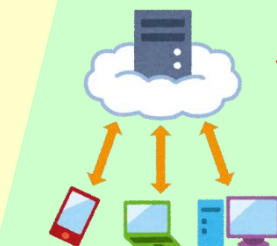
業務改善で
事務を効率化



電子手続きで
ペーパーレス化



電子決裁で
意思決定を加速



システムの標準化で
市区町村が同じ仕組みに



単純作業を自動化



出向かない



待たされない



書かされない



身近なところで





(2) 仕事や暮らしがより良く 働き方の変化

快

豊

挑

どこでもテレワーク



現場に出る
モバイルワーク



時間を有効に
ホームワーク

子育て・介護
ワークライフバランス



オンライン会議

遠くの人と顔や資料
を見ながら打合せ



現場の作業を
遠隔指導

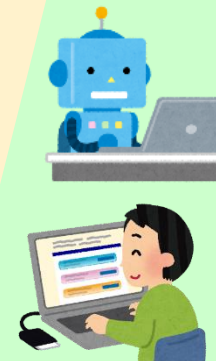
情報インフラの アップデート

モバイル通信・大画面・
インターネット利用など
使い勝手のいい
情報機器の整備



A I の活用

生成AIで仕事を
効率的に



仕事を自動処理する
A I エージェントの研究

時間に余裕

渋滞緩和
脱炭素

社会コストの削減

生産性向上



(3) 便利なサービスが生まれる

データから新たな取組みを誘発

快

豊

データの活用



交通サービス



スマホの活用



電子クーポン 電子チケット



情報の見える化

経済活性化

自由な移動

利便性の向上

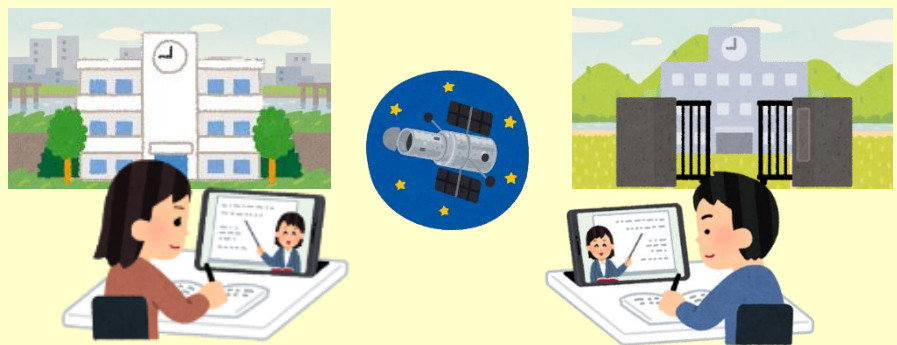


(4) 可能性を引き出す 学びの変化

育

GIGAスクール構想下の子どもの学び

授業におけるデジタル技術活用



個別最適化された学習プログラム、
協働学習のデジタル化、地域資源とのデジタル連携

学校外におけるデジタル活用



デジタル教材を活用した探究学習、
メタバースによる不登校支援

生涯にわたる探究的な学び



電子図書やデータベース、デジタルアーカイブの活用、
デジタル公民館などを通じた世代を超えた学び合い

一人ひとりに
最適な学び

いつでも・どこでも
学べる環境

知識の
オープン化



(5) 活躍の場が広がる

イノベーション・エコシステム

豊

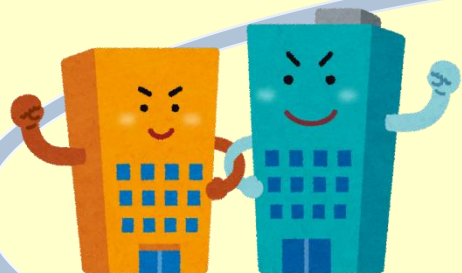
挑

共に創る

実感できるサービスづくり

価値を生み出す人づくり

持続する産業づくり



産学官連携で推進
(デジタル松本推進機構)



便利なデジタルサービスが
うまれる仕組みづくり



デジタル人材の育成
サービスづくりへの市民参加



デジタル化に取り組む
企業や団体を認定
スタートアップの支援

デジタルをいかす
地域文化

仮想現実空間
でになりたい自分に

若者と女性に
選ばれる

デジタルで稼げる

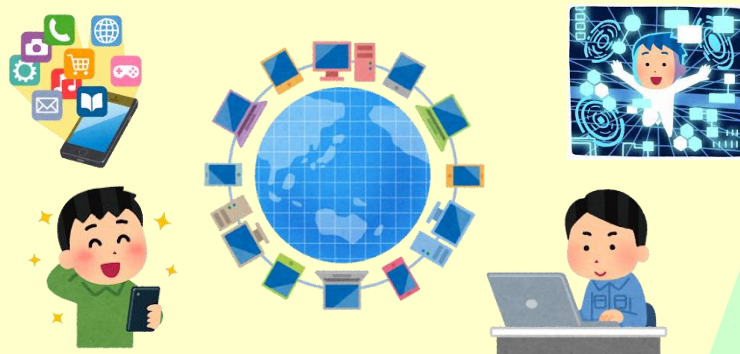


(6) 誰もが恩恵を受けられる デジタル格差対策

快

育

ICTインフラの維持・整備



インターネット接続環境のアップデート

デジタル活用支援



スマホやインターネットに慣れていない方、
馴染めない方をサポート

社会参加機会の創出



デジタル活用でハンディキャップを補う
地域コミュニティのつながりを深める

いつでも繋がる

デジタル格差解消

デジタル活用度の向上



(7) 安心が高まる セキュリティ対策

安

セキュリティ対策の徹底



漏えい・改ざん・消去のない、**情報セキュリティ対策**と
災害・障害でも止まらない**システムの強じん化**

個人情報・プライバシー保護



研修と訓練による**適正な運用**
監査による**健全性のチェック**

情報モラルの理解



ネットによるいじめ、匿名なら
何を言っても良い**風潮に“NO”**を

**情報セキュリティ
の向上**

個人情報
ネット不安が低減

成熟したネット社会



(8) さらに・・・

「松本で働く」を支える

松本で働きたい。若者やIJUターナーが生き生きと働く環境整備を進めます。

- ・サザンガク
- ・スタートアップ支援
- ・スマート農業
- ・新しい働き方支援
(テレワーク、二地域居住、ワーケーション※)

「当たり前の日常」を支える

生活に欠かせないインフラを効率的に維持します

- ・道路、橋りょう、管路の維持
- ・GPS除雪融雪管理システム
- ・ドローンの活用
- ・スマートメーター
- ・ウェアラブルカメラ

「子育て」を支える

松本市で子どもを育てたい、と思えるような支援策の検討研究を行います。

- ・子育てクーポンの活用
- ・保育園等のICT化
- ・入園受付の電子化
- ・オンライン相談
- ・メディア・リテラシー教育の充実

「行ってみたいまち」を支える

松本に行きたい、松本は楽しい、を高めます。

- ・観光データ分析
- ・デジタルマーケティング
- ・デジタルサイネージ※、VR
- ・山岳エリアの通信環境



「健康を守る」を支える

市民の健康維持に向け、デジタルを活用した施策の検討を行います。

- ・診療情報の共有
- ・マイナンバーカードの利用
- ・オンライン健診
- ・松本ヘルス・ラボ
- ・福祉ひろばのWi-Fi対応

「快適な移動」を支える

様々な交通手段をシームレスにつなぐ、新しい移動の概念を研究します。

- ・シェアサイクル
- ・MaaS※
(Mobility as a Service)
- ・交通キャッシュレス決済
- ・交通オープンデータ

「近未来の暮らし」を支える

豊かな可能性を秘めたデジタルテクノロジーを積極的に活用した次世代の社会のあり様を探っていきます。

- ・先端技術活用の研究
(AI※、デジタルツイン※、ロボットなど)
- ・空モビリティ

「もしもの安全」を支える

いつ起こるかわからない大規模災害から市民を守るため、必要なデジタル対策を行います。

- ・防災行政無線
- ・危険箇所情報の見える化
- ・被災者支援の電子化
- ・災害対策本部機能ICT化



4

心構え (SPIRITS)

推進に当たって

①情報システムではなくサービスを作る

サービスによって利用者が得る便益を第一に考え、たとえば、デジタル機器が使えない方には、デジタル技術に人手によるアナログなサービス等を組み合わせることも含め、最良のサービスを提供することを目指します。

②共に創る

DXで地域の課題を解決、持続可能な地域社会を共創

オープンイノベーション※

事業連携

実証実験

勉強会・研究会
・コンソーシアム※

デジタル人材育成

松本市

産学官連携

民間

大学

適応と成長

UPDATE

③時宜を捉え、迅速に、挑戦を繰り返しながら推進 (アジャイル※)

スピード感を追求し、タイムリーにスモールでもスタートし、成功や失敗、それによる軌道修正を積み重ねながら一貫して取り組みます。

④デジタル化を前提に行政の在り方そのものをリデザイン

聖域なく全ての領域でデジタル化に取り組み、行政のあらゆるサービスが最初から最後までデジタルで完結されるように、行政サービスの100%デジタル化を目指します。

⑤市民ニーズから出発し、市民の日常に溶け込むデジタル化

利用者の視点を中心に考え、市民にとって、「簡単」、「便利」、「満足できる」、デジタル化を図ります。

⑥データを庁内で共有し、オープンデータ化

個人情報保護条例を遵守しつつ、各部門が保有するデータや統計などの基礎データを庁内で連携・共有し、市役所全体の資産として活用します。

⑦方針も人材も、毎年アップデート

職員のデジタルマインド育成に努めます。さらに、デジタル技術の進化に対応するため、毎年アップデートします。



5

用語集

・AI (Artificial Intelligence)

人間の知的営みをコンピュータに行わせるための技術、又は、人間の知的営みを行うことができるコンピュータプログラムのこと。人工知能。

・RPA (Robotic Process Automation)

作成したロボット（プログラム）が、定義されたルールに則りデータ処理（入力、出力等）を行う仕組みのこと。

・Gov-Cloud

ガバメントクラウド（Gov-Cloud）とは、政府の情報システムについて、共通的な基盤・機能を提供する複数のクラウドサービス（IaaS, PaaS, SaaS）の利用環境のこと。

・MaaS (Mobility as a Service)

地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスのこと。

・XR

クロスリアリティ（XR）とは「VR（仮想現実）」「AR（拡張現実）」「MR（複合現実）」といった先端技術の総称。

・アジャイル

「素早い」「機敏な」「頭の回転が速い」という意味。システムなどの開発ではアジャイル開発と言われ、優先度の高いものから作り始め、短い期間で一部を完成させ、顧客への確認を繰り返す行うことで完成度を上げる方法。

・遠隔臨場

webカメラを利用して、現場に行かずとも離れた場所から臨場を行うこと。

・オンデマンド

ユーザーの要求に応じてサービスを提供すること。

・オープンイノベーション

組織の枠組みを超え、広く知識・技術の結集を図ること。

・コンソーシアム

組織や会社、個人やグループなどで構成する「共同体」の意味で、何らかの目的に沿った活動を行ったり、共通の目標に向かって資源を蓄える目的で結成

・3D都市モデル

実世界の都市を仮想的な世界に再現した3次元の地理空間データ

・チャットボット

テキストや音声を通じて、自動的に会話するプログラムのこと。「チャット」は、テキストを使いネット上でやり取りをすること、「ボット」は、人がコンピュータを使って行っていた作業をロボットが自動的に実行すること。

・デジタルディバイド

インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと。

・デジタル・ツイン

リアル（物理）空間にある情報を、サイバー（仮想）空間でリアル空間を再現する技術のこと。物理空間の将来の変化を仮想空間上でシミュレートすることで、将来の変化に備えることができる。

・デジタルサイネージ

駅や店舗、施設、オフィスなどに、ディスプレイやプロジェクターなどの映像表示装置を設置して情報を発信するシステムのこと。

・デジタルリテラシー

インターネットを中心にデジタル情報や通信について、さらにそれらを活用するパソコンやスマートフォンなどの機器やアプリについて知識を持ち、利用する能力のこと。

・デジタルネイティブ

物心がついた時からインターネットやパソコン、スマートフォンに慣れ親しみ、コミュニケーション方法や価値観、労働観において、ほかの世代とは違った特性のある世代のこと。

・バウチャー

ある種の金銭的価値を持つ金券で、特定の目的又は特定の商品にのみ使用できるもの。

・ビッグデータ

組織が非常に大きなデータセットとそれらが保存されている施設を作成、操作、および管理できるようにする全ての技術を指す。

・ワーケーション

ワーク（労働）とバケーション（休暇）を組み合わせた造語。リゾート地等でテレワークを活用し、働きながら休暇を取る過ごし方のこと。

これまでの取り組み

VALUE	内 容
(1)いつでも、かんたんに	・オンライン相談窓口 ・キャッシュレス拡充 ・納付書キャッシュレス決済 ・子育てクーポンの活用 ・行政オンライン手続き ・RPAの導入 ・公共施設予約オンライン決済
(2)仕事や暮らしがより良く	・電子契約 ・生成A I の活用 ・テレワークの推進 ・電子決裁 ・電子申請書 ・スマート農業推進 ・請求書の電子化 ・コミュニケーションネットワーク ・LINEの活用 ・業務システムのタブレット活用 ・Web会議システムの活用 ・上下水道DX推進事業
(3)便利なサービスが生まれる	・A I デマンドバス事業 ・電カスマートメーターフレイル検知 ・公開型GISの導入 ・交通キャッシュレス事業 ・一時預かり電子化事業 ・観光データ分析 ・オンライン保健指導
(4)可能性を引き出す	・AI学習ドリル整備事業 ・学校と保護者コミュニケーションツール ・学校・保育園ICT機器整備事業
(5)活躍の場が広がる	・デジタルシティ松本推進事業 ・中小企業等社会変革対応促進 ・ICT活用地域産業振興事業 ・仮想現実やAIなど最先端技術の研究 ・地元企業のデジタル化支援事業 ・松本推進企業認定制度
(6)誰もが恩恵を受けられる	・デジタル活用支援事業 ・まちなか観光DX推進事業 ・Wi-Fi整備
(7)安心が高まる	・災害対策本部機能のICT化 ・情報セキュリティ対策